

# 落款（らっかん）の書き方の紹介（1/2）

## ●落款とは？

落款（らっかん）とはまず、  
「落成款識（らくせいかんし）」を略したもの、  
ざっくり署名のこと  
現在では日付・名前・印鑑で1セットが多い  
本来は「誰が」「いつ」「どこで」「何を」「どのように」書いたか？  
を示すのがフルセット

落成＝完成（作品を完成させて署名するという意味）

款識＝印鑑のこと（款＝白文（線が白）、識＝朱文（線が赤））

※さらにいうと、白文が姓名印（名前）、朱文が雅号印（ペンネーム）  
や堂号印（場所などにちなんだ場所ネームのようなもの）

書道的には白文の方が格は上とされていて、考えるに朱文は線を残して  
掘るため格が下がるのかもしれませんが。

そのため原則として白が名、朱が号というのがあると考えられます。

## ●落款の書き方の原則

日付・名前・印鑑で1セットとして  
基本の書き方が以下のとおり

※上下の空きをだいたい同じくらいにするのが良いです  
(あくまで原則で絶対ではありません。重要なものは  
その場に調和しているかです)

